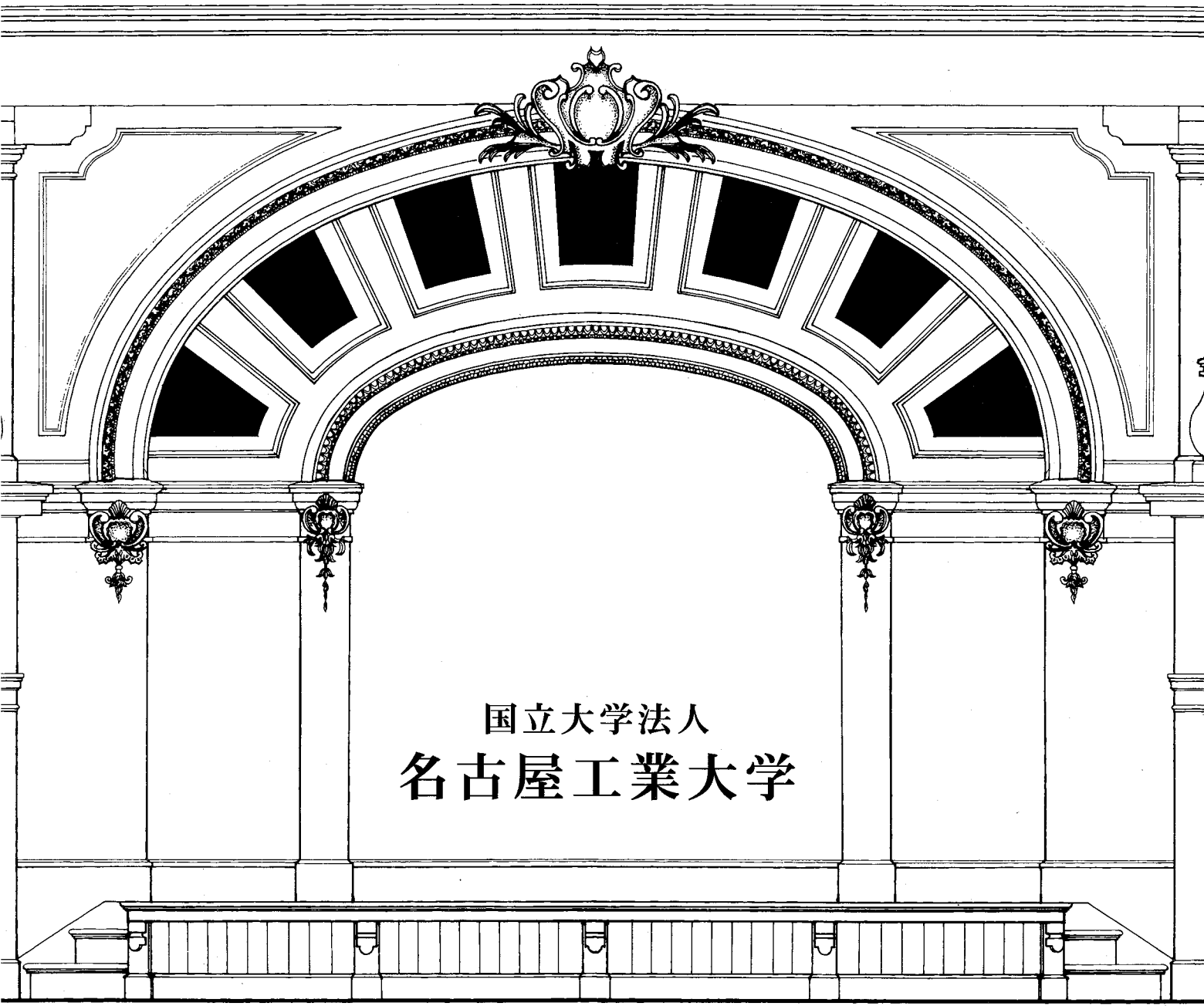


平成 24 年度
大学院工学研究科
(博士前期課程)

学生募集要項



国立大学法人
名古屋工業大学

目 次

平成24年度 大学院工学研究科(博士前期課程)学生募集要項

アドミッション・ポリシー	1
1 募集専攻及び募集人員	2
2 出 願 資 格	2
3 出 願 期 間	3
4 出 願 手 続	3
5 受験票の交付	4
6 障害を有する者の出願	4
7 入学者選抜方法	4
8 試 験 場	5
9 合格者発表及び入学手続	5
10 入学手続時に必要な経費	5
11 入 試 情 報	6
12 私費外国人留学生の選抜	6
13 各専攻の研究分野	6
14 課程の修了の認定及び学位の授与	7
15 教 員 免 許 状	7
16 奨 学 金	7
17 問い合わせ先	7

アドミッション・ポリシー

名古屋工業大学大学院では、「ひとづくり」、「ものづくり」、「未来づくり」を教育・研究の理念・目標に掲げ、工科系大学の世界拠点として、異分野との融合による新たな科学技術を創成し、有為の人材を世に送り出す工科大学構想を進めています。そこで、次のような学生を広く求めています。

1. 広範な工学分野の専門知識を習得することが可能な基礎学力をもつ人
2. 既成概念にとらわれることなく自ら新しい分野を開拓できる、積極的かつ柔軟な思考をもつ人
3. 未来の工学を先導することに強い意欲をもつ人

平成24年度 大学院工学研究科（博士前期課程）学生募集要項

本学大学院工学研究科では、次のとおり博士前期課程の学生募集を行います。

1 募集専攻及び募集人員

募集専攻	募集人員
物質工学専攻	65名
機能工学専攻	61名
情報工学専攻	78名
社会工学専攻	45名
産業戦略工学専攻	17名
未来材料創成工学専攻	51名
創成シミュレーション工学専攻	48名

注1：産業戦略工学専攻は、募集人員17名に一般在学コース（修業年限2年）の他に短期在学コース7名を含みます。

2：産業戦略工学専攻の短期在学コースとは、社会人を対象とし、修業年限が1年以上2年未満のコース（最短1年で修了することが可能なコース）をいいます。

3：産業戦略工学専攻の短期在学コースに出願を志願する者については、「産業戦略工学専攻短期在学コースの出願要件」を参照してください。

4：産業戦略工学専攻の短期在学コースは、この募集要項とは別に9名定員で募集を実施します。その募集要項は、平成23年11月下旬に発表します。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成24年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び学士の学位を平成24年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認めたもの
- (8) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認めたもの
- (9) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認めたもの

(10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成24年3月31日までに22歳に達するもの

注1：出願資格(7),(8)又は(9)により出願する者は、11ページ「出願資格(7),(8)又は(9)による出願について」にご留意ください。

注2：出願資格(10)により出願する者は、11ページ「出願資格(10)による出願について」を参照してください。

産業戦略工学専攻短期在学コースの出願要件

短期在学コースに入学を希望する者にあつては、前頁の出願資格を有する社会人であつて昼夜間受講が可能な者で次のいずれかに該当する者

- ・大学卒業後、3年以上（入学時に見込まれる者を含む）の技術分野や産業経営分野の実務経験を有する者
- ・大学卒業後、2年以上（入学時に見込まれる者を含む）の技術分野や産業経営分野の実務経験を有し、特に官公庁、地域連携に積極的な企業・団体から推薦された者
- ・その他本学大学院において、上記の者と同等以上の資格があると認められた者

3 出 願 期 間

平成23年7月19日(火)～7月22日(金)

出願書類等の受付時間は、9:00から16:00までとします。郵送出願の場合は、書留郵便で7月22日(金)必着とします。

4 出 願 手 続

(1) 出願書類等の提出

入学志願者は、次の書類等を取りそろえ、所定の期日までに本学入試室に提出してください。

郵送出願する場合は、書留郵便とし、封筒の表面には、「大学院（博士前期課程）入学願書 在中」と朱書きしてください。

なお、海外から出願する場合は、入試室へ問い合わせください。

(2) 出 願 書 類 等

ア 入学願書、受験票、写真票（本学所定の用紙）

イ 志望理由書（本学所定の用紙）

ウ 成績証明書（産業戦略工学専攻の短期在学コースは不要）

エ 卒業（見込）証明書（出願資格(7)により出願する者は不要）

オ 推薦書（産業戦略工学専攻の短期在学コースのみ必要）

カ 検定料 30,000円

検定料は、13ページの「検定料の払込方法」を参照の上、ゆうちょ銀行・郵便局の窓口で払い込んでください。

キ 受験票送付用封筒（郵送出願する者のみ）

市販の封筒（長形3号、23.5cm×12cm）に、郵便番号、受信場所、氏名を記入し、郵便切手（350円）を貼り付けてください。

ク 連絡用シール

入学願書に記載した「受信場所」と同一の住所を記入してください。

ケ その他（様式随意）

- (ア) 外国人は、登録原票記載事項証明書（在留資格及び在留期間が記載されたもの。）
- (イ) 出願資格(2)「学位を授与された者」により出願する者は、大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書を提出
- (ウ) 出願資格(2)「学位を取得見込みの者」により出願する者は、次の書類
 - ① 在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科の修了見込証明書
 - ② 在籍する短期大学長又は高等専門学校長が発行した、学士の学位授与を申請する予定である旨の証明書

(3) 注 意 事 項

- ア 出願書類等の不備なものは、受理しません。
- イ 提出後、出願書類等の返還及び記入事項の変更は、認めません。
- ウ 既納の検定料は、返還しません。
- エ 出願書類等に虚偽の事項を記入したことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- オ 本学入学者選抜に用いた個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて、次のとおり取り扱います。
 - ① 今後の入学者選抜に係る調査・研究のために利用します。
 - ② 入学者選抜及び上記①の利用に当たっては、守秘義務等を締結した業者（以下「業者」という。）の一部を委託する場合があります。
この場合、この業者に対して委託した業務の範囲内で、個人情報を提供します。
 - ③ 入学者については、入学者選抜に用いた個人情報を学籍などの教務関係及び学生支援関係に関する業務を行うため利用します。

5 受験票の交付

出願書類等を持参した者には、その場で交付します。また、郵送出願した者には、郵送します。

6 障害を有する者の出願

本学大学院に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）がある者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、平成23年7月1日（金）までに、本学入試室へ申し出てください。

7 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査成績、面接、推薦書（産業戦略工学専攻短期在学コースのみ）及び成績証明書を総合して判定します。合格者の選考は、最初に第一志望の専攻で行います。第一志望で募集人員に満たない専攻のみ、第二志望を受入れます。ただし、その専攻が指定する専門試験科目を受験していなければ、第二志望の専攻の選考対象にはなりません。なお、各専攻において、希望分野、試験成績等を考慮して判定します。

(1) 学 力 検 査 (筆 記 試 験)

ア 専門試験 平成23年8月18日(木) 9:00~12:00

8ページの別表の筆記試験を課します。

別表の各専攻の指定する出題科目のうちから必ず3題を当日試験場で選択して解答してください。

イ 外国語試験 平成23年8月18日(木) 13:00~14:30 英語

外国人留学生は、当日試験場において、英語又は日本語のどちらかを選択することができます。

○ 社会人口述試験 平成23年8月18日(木) 専攻の指定時間

産業戦略工学専攻短期在学コースを除く社会人志願者(現に大学に在学している者を除く)は、上記に示す学力検査の**専門試験(筆記試験)**に代えて、志望する分野に関する専門科目及び提出された業績報告書等の内容について社会人口述試験で受験することができます。これらを希望する者は、12ページの「社会人口述試験の受験について」を参照してください。

○ 産業戦略工学専攻短期在学コース試験 平成23年8月19日(金) 専攻の指定時間

産業戦略工学専攻短期在学コースの志願者は、外国語試験及び専門試験を口述試験で実施します。

(2) 面 接

平成23年8月19日(金) 12:45~

① 面接は、研究意欲、適性、人物等について、個人面接を行います。

② 志望別の面接は、第一志望の専攻で行います。

なお、第一志望では募集人員に満たないことが予想される専攻では、第二志望の受け入れのために再度面接を行うことがあります。その専攻を第二志望に指定した受験者を対象に、当日中に再度面接を行います。第二志望の専攻における面接の有無を含め、詳細(専攻名、面接開始時間、面接場所及び受験番号等)は、8月19日(金)12:00に2号館前にて掲示します。第二志望での面接を行うとした専攻では、この面接を受けなければ第二志望の選考対象になりませんので、必ず掲示を見てください。

また、第二志望の専攻が指定する試験問題を受験していなければ、面接対象者になりません。

8 試 験 場

名古屋工業大学

詳細については、当日、2号館前に掲示します。

9 合格者発表及び入学手続

(1) 平成23年9月9日(金) 12:00、本学2号館前に合格者の受験番号を掲示します(合格者発表についての電話による問い合わせには応じません。)

なお、合格者には合格通知書を送付します。

(2) 入学手続の詳細については、平成24年2月下旬頃に合格者に通知します。

10 入学手続時に必要な経費

入 学 料	282,000円 (予定額)
授 業 料	年額 535,800円 (予定額) { 前期分 267,900円 後期分 267,900円

- 注1：入学料及び授業料については、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、新入学料及び新授業料が適用されます。
- 2：授業料は、希望により前期分を納入の際に後期分も併せて納入できる制度があります。
- 3：授業料（前期分）を入学手続時に納入しない場合は、平成24年4月2日(月)から4月27日(金)までに納入してください。
- 4：既納の入学料及び授業料は、返還しません。ただし、授業料については、入学手続完了者が平成24年3月31日(土)までに入学を辞退した場合には、納入した者の申出により当該授業料相当額は、後日返還します。
- 5：入学料及び授業料については、徴収猶予又は免除する制度があります。

11 入 試 情 報

平成24年度大学院博士前期課程に係る入試情報は、次の内容を開示します。

1. 出願状況等

志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を本学ホームページ及び入試室窓口で提供します。

2. 試験問題等

① 試験問題

試験問題は過去3年間分をホームページで公表しています。

ただし、著作権法により開示しない場合があります。

② 正解・解答例（ただし、正解・解答例を示すことが困難な問題については、出題意図や評価ポイント）

③ 開示方法

平成23年9月上旬にホームページで公表します。

3. 試験成績

(1) 受験者本人の申請に基づき、次の事項を開示します。

総合評定（A, B, C）

(2) 申請方法等

① 申請期間

平成23年9月12日(月)～9月30日(金)

② 申請方法

入試室窓口又は郵便で、「試験成績請求願」（本学指定の用紙）に、受験票及び成績送付用封筒（市販の角形2号封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、280円分の切手を貼付したもの）を添えて申請してください。

(3) 開示方法

平成23年10月上旬に申請者本人へ郵送します。

12 私費外国人留学生の選抜

本学大学院工学研究科（博士前期課程）においては、この学生募集とは別に私費外国人留学生募集を実施します。

13 各専攻の研究分野

入学願書の中の志望専攻名、分野名及び教員名の記入に当たっては、別冊「大学院工学研究科（博士前期課程）担当教員一覧」を参照してください。

14 課程の修了の認定及び学位の授与

ア. 産業戦略工学専攻以外の専攻

本学大学院に2年以上在学し、各専攻所定の授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、大学院の行う修士論文の審査及び最終試験に合格した者に、修士（工学、学術）の学位を授与します。

イ. 産業戦略工学専攻

開講される授業科目から30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又はリサーチ・ペーパーの審査及び最終試験に合格した者に、修士（工学、学術、産業戦略）の学位を授与します。

注：リサーチ・ペーパーとは、実学に従事した際に見いだされた問題点を考察した報告書や市場化・製品化に関する技術開発報告書などのことです。

15 教員免許状

高等学校教諭1種免許状「工業」の課程認定を受けている大学を卒業した者は、高等学校教諭専修免許状「工業」を取得することができます。

16 奨学金

日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、奨学金が貸与されます。

◎教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座のお知らせ

本学産業戦略工学専攻の短期在学コースは、教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座です。

この制度は、雇用保険の一般被保険者又は一般被保険者であった社会人が、厚生労働大臣の指定した教育訓練を修了した場合に、その受講のために支払った費用の一部に相当する額を教育訓練給付金として支給するものであり、労働者の主体的な能力開発の取組みを支援し、もって、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的としています。

本学大学院産業戦略工学専攻短期在学コースでは、雇用保険に関して一定の要件を満たしている社会人（詳しくは厚生労働省のホームページあるいは最寄りの公共職業安定所で要件を満たしているか照会してください。）で、修士（工学、学術、産業戦略）の学位を取得した修了生に対して、申請に基づき一定の条件の下に、入学金及び授業料のうちの一定割合（20％、上限10万円。（支給要件期間が3年以上）。ただし、初回に限り支給要件期間1年以上で受給が可能）が支給されます。

17 問い合わせ先

この学生募集要項に関する照会は、郵便又は電話等で行ってください。郵便で照会をする場合は、受信者の郵便番号、受信場所、氏名を明記の上、郵便切手を貼った返信用封筒を同封してください。

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学 入試室
電 話 052 (735) 5083
F A X 052 (735) 5084
Eメール nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp

別表

志望した専攻によって、選択できる問題の指定があります。次のとおり各専攻が指定した問題に○印が付いていますので、その問題の中から必ず3題を選択解答してください。

問題番号	出題科目	物	機	情	社	産	未	創
1	微分積分・線形代数	○	○	○	○	○	○	○
2	電磁気学	○	○	○	○	○	○	○
3	数理学	○	○	○	○	○	○	○
4	A[無機化学], B[無機材料]	○	■	■	○	○	○	○
5	A[有機化学], B[高分子合成]	○	■	■	○	○	○	○
6	A[高分子材料], B[生体高分子], C[生化学]	○	■	■	○	○	○	○
7	A[基礎物理化学], B[材料物理化学], C[高分子物理化学]	○	■	■	○	○	○	○
8	A[分析化学], B[無機構造解析], C[結晶物性]	○	■	■	○	○	○	○
9	A[高分子物性], B[無機材料物性], C[材料物理]	○	■	■	○	○	○	○
10	A[化学工学], B[無機材料プロセッシング], C[材料プロセス工学]	○	■	■	■	○	○	○
11	電気回路・電子回路	■	○	○	○	○	○	○
12	計測数理解析	■	○	○	■	○	○	○
13	制御工学	■	○	○	○	○	○	○
14	力学・材料力学	■	○	○	■	○	○	○
15	流体力学	■	○	○	■	○	○	○
16	熱力学	■	○	○	■	○	○	○
17	生産加工	■	○	○	■	○	○	○
18	量子力学	■	○	■	■	○	○	○
19	電子物性・固体物性	■	○	■	■	○	○	○
20	計算機基礎	■	■	○	■	○	○	○
21	離散数学	■	■	○	■	○	■	○
22	情報科学	■	■	○	■	○	■	○
23	情報理論	■	■	○	○	○	■	○
24	A[情報ネットワーク], B[知能科学], C[メディア情報処理]	■	■	○	○	○	■	○
25	A[建築構造学], B[土木構造力学]	■	■	■	○	○	■	○
26	A[建築環境・設備], B[環境水理学]	■	■	■	○	○	■	○
27	A[建築・都市計画], B[社会基盤計画]	■	■	■	○	○	■	○
28	土質力学・地盤工学	■	■	■	○	○	■	○
29	建築歴史・意匠	■	■	■	○	○	■	○
30	A[建築材料], B[コンクリート工学]	■	■	■	○	○	■	○
31	環境科学	■	■	■	○	○	■	○
32	人間工学・組織行動学	■	■	■	○	○	■	○
33	システム分析	■	■	■	○	○	■	○
34	オペレーションズリサーチ・最適化	■	■	■	○	○	■	○
35	産業社会システム	■	■	■	○	○	■	○
36	マネジメント工学	■	■	■	○	○	■	○
37	デザイン理論	■	■	■	○	○	■	○
38	デザイン制作	■	■	■	○	○	■	○
39	経営戦略	■	■	■	○	○	■	○
40	マーケティング	■	■	■	○	○	■	○
41	経営管理	■	■	■	○	○	■	○

注1：問題の中には、さらにA, B, Cの出題科目に区分された問題があります。これは選択問題であることを示しています。例えば、問題4は、A[無機化学]とB[無機材料]のいずれかを選択解答する問題であることを示しています。

- 2：物＝物質工学専攻
 機＝機能工学専攻
 情＝情報工学専攻
 社＝社会工学専攻
 産＝産業戦略工学専攻
 未＝未来材料創成工学専攻
 創＝創成シミュレーション工学専攻

各問題の出題範囲一覧

番号	出題科目	出題範囲
1	微分積分・線形代数	微分積分・線形代数全般、ただし常微分方程式を除く
2	電磁気学	静電界、定常電流、静磁界、電磁誘導（電磁波は含まない）
3	数理科学	複素解析、ベクトル解析、微分方程式（フーリエ級数を含む）、および代数入門を題材にした考察力を問う問題
4	A [無機化学]	一般無機化学、錯体化学、電気化学、生物無機化学
	B [無機材料]	無機構造化学、材料化学などの無機材料の基礎
5	A [有機化学]	一般有機化学、天然物化学、生物有機化学など
	B [高分子合成]	低分子合成、連鎖重合、逐次重合、高分子反応
6	A [高分子材料]	高分子材料の構造、特徴、キャラクタリゼーションなど
	B [生体高分子]	生体高分子、天然高分子、生体膜などの性質、構造、機能
	C [生化学]	酵素反応、酵素活性調節、哺乳動物のエネルギー代謝、ホルモンによる代謝調節
7	A [基礎物理化学]	化学熱力学、量子化学・構造化学
	B [材料物理化学]	熱力学、熱物性、量子物性など
	C [高分子物理化学]	高分子溶液・液体・固体の物理化学的性質
8	A [分析化学]	分析に用いる化学平衡、溶媒抽出、クロマトグラフィー、電気化学分析、分光分析、質量分析など
	B [無機構造解析]	量子化学、結晶学、構造解析、材料解析など
	C [結晶物性]	結晶解析、構造解析、材料組織、金属材料など
9	A [高分子物性]	ゴム弾性、粘弾性、時間・温度換算則など
	B [無機材料物性]	電子物性、物性科学、材料強度学など、無機材料の物性の発現とその機構
	C [材料物理]	力学物性、電子物性、機能材料など
10	A [化学工学]	化学工学基礎、輸送現象
	B [無機材料プロセッシング]	熱力学、組織制御学、セラミックス界面化学、無機材料の合成など
	C [材料プロセス工学]	環境材料化学、材料物理化学、材料プロセス工学など
11	電気回路・電子回路	直流回路の過渡現象、交流理論（三相交流を除く）、バイポーラトランジスタ・オペアンプ増幅回路
12	計測数理解析	確率解析（確率変数間の独立性、確率変数の期待値、分散、相関係数）、数値解析（数値積分法、微分方程式の差分法）
13	制御工学	ラプラス変換、伝達関数、ブロック線図、システムの応答、周波数応答、システムの安定性など
14	力学・材料力学	質点と剛体の静力学および動力学の基礎、運動量と力積およびエネルギー、ひずみと応力、棒の引張りとなじり、はりの曲げなど
15	流体力学	静水力学、1次元流れ（含ベルヌーイ定理）、運動量理論、次元解析、管路の流れ、流体力学基礎式、ポテンシャル流
16	熱力学	第1法則、第2法則、理想気体、一般関係式、ガスサイクル、蒸気サイクル、熱の有効利用など
17	生産加工	塑性力学の基礎事項および基本的な機械材料の基礎知識

18	量子力学	量子力学の基本的枠組み, 空間が1次元の系における束縛状態および散乱問題等
19	電子物性・固体物性	結晶構造, 固体のエネルギーバンド, 金属・半導体・絶縁体, 状態密度, フェルミレベル, 電子と正孔, 電気伝導, ホール効果
20	計算機基礎	計算機構造, 論理回路
21	離散数学	論理 (命題と証明), 組合せ解析 (数え上げ, 離散確率), 離散的構造 (集合, 関係, 関数, グラフ, 木)
22	情報科学	データ構造とアルゴリズム (基本的なデータ構造, アルゴリズムの設計, 計算量の解析), 形式言語とオートマトン (オートマトン, 生成文法)
23	情報理論	エントロピー, 情報源符号化, 通信路符号化
24	A [情報ネットワーク]	ネットワークアーキテクチャ (プロトコルの基礎概念, 階層化) MAC, 交換方式, ルーティング, TCP/IP, 性能評価
	B [知能科学]	探索・理論・推論アルゴリズム (状態空間, 探索アルゴリズム, 命題論理, 述語論理, 論理プログラミング, 知識表現, プランニング)
	C [メディア情報処理]	デジタル信号処理 (フーリエ変換, 標本化定理, デジタルフィルタ, インパルス応答, 線形時不変, z 変換, 安定性と因果性など)
25	A [建築構造学]	建築分野の構造学全般
	B [土木構造力学]	土木分野の構造力学全般
26	A [建築環境・設備]	建築環境工学, 建築設備学
	B [環境水理学]	環境水理学全般
27	A [建築・都市計画]	建築計画・都市計画全般
	B [社会基盤計画]	社会基盤計画全般
28	土質力学・地盤工学	土質力学・地盤工学全般
29	建築歴史・意匠	建築歴史・意匠全般
30	A [建築材料]	建築材料全般
	B [コンクリート工学]	コンクリート工学全般
31	環境科学	環境工学, 環境生態学
32	人間工学・組織行動学	ヒューマンファクター及び産業・組織心理学を中心とした基本事項
33	システム分析	経営工学に関連するシステム工学及びシステムズ・アプローチ全般, 並びにデータ解析に関する基本事項
34	オペレーションズリサーチ・最適化	システム数理計画 (線形計画法), 確率と待ち行列, システム最適化論に関する基本事項
35	産業社会システム	産業社会論全般, 並びに地震防災における社会システムに関する事項
36	マネジメント工学	プロジェクトマネジメント全般, ならびに生産管理全般
37	デザイン理論	デザイン理論全般
38	デザイン制作	デザイン制作全般
39	経営戦略	経営戦略論の歩みおよび経営戦略の基本的な手法に関する基本事項
40	マーケティング	技術経営からみたマーケティング, 技術基点の市場創造
41	経営管理	企業経営に関わる基本知識, 財務データに基づく経営分析, 原価管理手法等の基本事項

出願資格(7), (8)又は(9)による出願について

出願資格(7), (8)又は(9)により出願する者は、次のことに注意してください。

1 [入学資格審査]

合格した者について、2に示す[審査に必要な書類等]を提出してください。入学資格について審査を行います。

この審査の結果、3に示す要件を満たさない場合は、合格を取り消します。

2 [審査に必要な書類等]

- ① 3年次までの成績証明書(在学する大学において作成し、厳封したもの)
- ② 教育課程表(卒業要件、講義内容等が詳細に記載されたもの)
- ③ 前記の必要書類、提出期限等の詳細は、合格通知書送付時に通知します。

3 [入学資格要件]

合格した者の入学資格は、次の要件を全て満たす必要があります。

- ① 平成24年3月31日において、大学在学期間が3年以上となる者
- ② 平成24年3月31日までに、在学する大学の卒業に必要な単位数の85%以上の単位を修得する者
- ③ ②で修得した単位のうち、100点満点に換算して80点以上のものに相当する単位が80%以上である者

4 [その他]

在学する大学の学部学生としての学籍上の身分は、退学となります。

したがって、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部を卒業していることを要件としているものについては、受験資格がないこととなるので十分注意してください。

出願資格(10)による出願について

1 出願資格(10)により出願する者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者及びその他教育施設の修了者等です。

2 名古屋工業大学大学院工学研究科において個人の学習歴や実務経験・国際的活動経験等の具体的内容について出願資格認定審査を行います。

3 審査を受ける者は、3ページの「4(2)出願書類等」に示すア、イ、ウ、エ、ク、ケに加え、次に示す書類を平成23年6月27日(月)16:00までに入試室へ提出してください。

(1) 出身学校の学校概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料

(2) 入学試験出願資格認定審査調書(本学所定の用紙)

注) 上記(2)書類の各事項に関する証明書等を添付してください。(例: 大学等の在学期間がある場合、成績証明書を添付)

4 審査の結果は、平成23年7月8日(金)までに本人に連絡します。

5 出願資格を認められた者は、出願書類を受理しますので、3ページ「4(2)出願書類等」のうち未提出書類等(検定料については、ゆうちょ銀行・郵便局へ払い込み、「検定料受付証明書」)を取り揃え、出願期限までに入試室へ提出してください。

6 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

社会人口述試験の受験について

- 1 社会人のうち学力検査の専門試験（筆記試験）に代えて社会人口述試験を希望する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において、社会人口述試験の受験の可否について審査を行います。
- 2 審査を希望する者は、3ページ「4(2)出願書類等」に示すア、イ、ウ、エ、クに加え、次に示す書類を平成23年6月27日(月) 16:00までに入試室へ提出してください。
 - ・大学院における自己の希望する研究内容を記載したもの及び業績報告書（研究論文、技術報告、特許、実用新案等の写し）（様式随意）
- 3 審査の結果は、平成23年7月8日(金)までに本人に連絡します。
- 4 社会人口述試験の受験を認められた者は、出願書類を受理しますので、3ページ「4(2)出願書類等」のうち未提出書類等（検定料については、ゆうちょ銀行・郵便局へ払い込み、「検定料受付証明書」）を取り揃え、出願期限までに入試室へ提出してください。
- 5 社会人口述試験の受験を認められなかった者で、学力検査の専門試験（筆記試験）での受験を希望する場合は、出願書類を受理しますので、3ページ「4(2)出願書類等」のうち未提出書類等（検定料については、ゆうちょ銀行・郵便局へ払い込み、「検定料受付証明書」）を取り揃え、出願期限までに入試室へ提出してください。